

## エアゾール缶の新たな加飾システム「タックラベル缶」



### 小ロットで効率よく生産



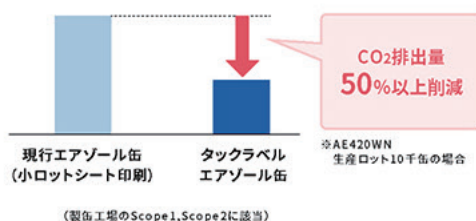
デジタル印刷を活用したエアゾール缶の新しい加飾システムです。通常、エアゾール缶の加飾は缶への直接印刷もしくは無地缶に紙ラベルを巻くかのどちらかです。直接印刷は小ロット品の生産に向いておらず、また紙ラベルはお客様先で充填後にひとつひとつ手作業で貼ることが多いためコストが高いという課題がありました。

そこで、印刷したタックシールを無地缶に巻き付けた状態でお得意先に納品することで、小ロット品を効率よく生産することができます。

使用する材料や製造工程も工夫しており、缶の印刷・乾燥工程をなくしてCO<sub>2</sub>排出量を削減したり、デジタル印刷により製版などの廃棄物を削減できるなど、環境にも配慮しています。

### 缶の印刷・乾燥工程をなくすことによるCO<sub>2</sub>削減

#### 缶製造工程でのCO<sub>2</sub>排出量比較 (タックラベルの材料製造・ラベル製造を含む)



デジタル印刷によるアルミ製刷版削減（廃棄物量の削減）

年間廃棄物量（刷版使用量）

1.8ton

